



コロナ禍でも途切れない「安心！」 チームサポートで安心の輪をつなぐ「の一まらいふ暖」

その人にとって自分らしい暮らしとは何か。相談支援事業所として、地域に広がる福祉サービスをつなぐ「の一まらいふ暖」。コロナ禍が続く中でも関係機関や関係者と協力し、チームサポートで途切れない「安心の輪」をつないでいます。

ここ2年のコロナ禍で生活は変容し、障害者にとっても福祉サービスの休止や新規利用者の受け入れができないなど環境は一変しました。そういった状況で、人と会えず不安だという悩みをかかえたり、普段のサービスだけでなく緊急的にサービスを利用したいという相談も多く持ちかけられているのが現状です。

そのような時に頼りになるのが、チームになってサポートするという視点でつながる、関係機関や関係者との「安心の輪」です。

相談支援専門員(裏面※)の仕事は、利用者へ直接的な生活支援をするわけではなく、福祉サービス事業所やご家族などと連絡を取りあい、調整を図りながらその方の暮らしに最適な支援を組み立てて、「サービス等利用計画」を作成することです。

その際、公的な関係機関はもちろん、民生委員や自治会など近隣の方たちにも支援の輪を広げ、より多くの方たちと情報が共有できれば、コロナ禍で街での生活は変化していても、それぞれに何ができるか、またどのように連携すれば良いかなどの選択肢が増え、利用者の「安心」を途切れず繋ぐことになるばかりか、街での絆も深まっています。



じつは...



さて、ヘルパー支援を利用しながら一人暮らしをされているAさんは「コロナ禍で集える場所がない、気軽に人と会えない...」と孤独を感じていることを電話で話してくれました。また、障害福祉サービスから介護保険サービスの利用へと移行する「変化」のタイミングが来たことで、更に不安を募らせていました。

そこで、民生委員、訪問サービス、行政やケアマネージャーなどとチームを組んでAさんに寄り添うかたわら、日々の健康面をサポートする訪問看護にもチームに加わっていただき、チーム支援の輪を広げることにしました。

おかげで今では気持ちも落ち着き、介護保険を利用しながら毎日安心して暮らしているとチームから報告を受け、Aさんからも直接お話をいただいています。



このように「の一まらいふ暖」では、状況に応じたチーム作りを通して、相談支援事業所としての役割が果たせるよう取り組んでいます。

取材:広報委員会



名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAIレポートブログ」から
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAIレポート 検索



通所活動支援〈ききょうの家〉



いよう、より一層、**利用者の心に寄り添った真心のある支援**を行い、これからもさらに満足度を高めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。

制服導入で心機一転

制服を導入しました!胸に「ききょうの家」がワンポイントで入っている、落ち着いた感じのTシャツです。

この制服の着用で、「**ききょうの家**」の看板を背負っているという**自覚**をひとりひとりが持ち、看板に恥じない



▲ききょうの家 ブログ

生活介護〈とも〉

新入職員Sのひとりごと



私が今年の4月に入職してから、早くも半年が経とうとしています。

(はやーい!!)

入職したての頃は、覚える業務がたくさんで分身が欲しいほどでしたが^^;、「**何回もこなすうちに、できるようになるよ!**」と先輩から一つひとつ丁寧に指導いただきます(*^^*)

そんなある日、「**Sさんはいつも挨拶するときに、相手の目をしっかり見ているよね!**」と褒められました!(・v・)

「よっしゃー!マナー研修を受けた**成果出てるわ!**」と心の中でガッツポーズ!

入職時は不安でいっぱいでしたが、新人研修で学んだことが、日々の業務にも生きてきています(*^^*)

あとは、先輩職員さんの「**良いな!**」と思ったところを真似して、一日も早くより良い支援員になりたいな、と思っています(^_^)



▲とも ブログ

高齢者グループホーム〈ひかり〉

いまわたしが勤務しているのは「認知症対応型共同生活介護」、グループホームと呼ばれる施設で、この仕事をしてから一年半程度です。

日々の支援の中で大変だと感じることも多々ありますが、人としての行動の奥にある苦悩や寂しさ、純粹さに触れた時、支援者として考えさせられる事が沢山あります。

支援方法を他職員と意見交換し、**ベストな介助方法を考えお手伝いが出来た時の達成感、自分たちの接し方次第で利用者一人ひとりの生活が充実していくんだという喜び。これは他の仕事では味わえません。**

この仕事は高齢者の**健康や命に直接関わり、私たちは高齢者の暮らしに大きな影響を持つ存在**です。それを理解したうえで支援をするという事。これが大切だと働いていて感じたことです。

介護の仕事で得たもの(抜粋)



▲ひかり ブログ

(表面より)

(※)生活の目標や就労などの希望を利用者本人から伺い、またご家族のお話にも耳を傾け、どのような福祉サービスを、どれくらい利用すれば、その方らしい暮らしが実現できるか、事業所や関係機関との中立的な立場で「サービス等利用計画」を作成するのが相談支援専門員です。

の一まらいふ暖は、相談支援専門員6人と相談員、事務員の計10人のスタッフが日々力を合わせています

の一まらいふ暖では、障害福祉サービスはもちろん、医療、就労、介護保険、年金、法律(制度)と多岐にわたる知識を日々積んで、チーム作りにも活かしています。



虹の会では随時会員募集しています。

支援を通じた仲間作り。一緒に活動しませんか! 名張育成会後援会・虹の会 0595-65-0271